

川越市行政 DX 推進計画（原案）に対する意見募集の結果について

1 意見公募手続の概要

（1）募集期間

令和8年1月26日（月）～令和8年2月24日（火）の30日間

（2）募集対象

- ①市内に住所を有する方
- ②市内の事業所等に勤務する方
- ③市内の学校に在学する方
- ④その他案に関し利害関係を有する方

（3）閲覧方法

- ①川越市役所情報政策課（庁舎分室2階）、各市民センター、川越駅西口連絡所
- ②市ホームページ

（4）意見提出方法

- ①川越市役所情報政策課へ直接持参
- ②郵送、FAX、電子申請（市ホームページ）で提出

2 結果概要

- （1）意見提出者：1名
- （2）意見件数：6件

川越市行政DX推進計画原案に対する意見公募手続に係る市の考え方

No.	ページ	意見概要	市の考え方	原案の修正
1	P. 4	計画期間が5年は長いのではないかと思います。デジタル技術、特にAIの進歩は非常に速いので、計画期間は3年が妥当ではないでしょうか。行政の計画は5年が一般的とは認識してはおります。	本計画は、第五次川越市総合計画前期基本計画の施策「行政DXの推進」の実現のために策定するもので、計画期間の整合を図り5年間としております。 ご意見のとおり、AI等のデジタル技術の進展が速いことから、本計画では、具体的な事業やデジタル化の具体的手法を掲載せず、本市がDX施策にどのように取り組んでいくかについて施策の方向性を示す計画としております。	無
2	P. 9	「広報かわごえ」に市民ゴルフ大会等、いろいろなイベントの申込がありますが、電話かほかきが一般的です。この施策にはメールやデジタル申込みサイトとかも含まれているのでしょうか。具体的に何の申請・届出がオンライン化されるのかがよくわかりませんので、別表で、どの手続きが現在オンライン化されていて、どの手続きがオンライン化されていないか、オンライン化しようとしているのかがわかると良いと思います。また、ページ右下に「手続きガイド」とありますが、生成AIを活用したものののでしょうか。今の市のHPにもAI検索がありますが、なかなか検索がヒットしませんでした。	本施策は、イベントの申込などの手続きも含め、対応可能な申請・届出等をオンラインで手続きができるようにするものであり、手続きは、電子申請サービス等のオンライン上の申込サイトにより申込みを行います。 オンライン化の状況については、年度途中で新たに加わる手続きもあるため、オンライン化した手続きを市ホームページ上で公開しています。 なお、「手続きガイド」は、AIを活用したサービスではございません。	無
3	P. 11	川越市独自でシステムを構築・運用することよりは他の市町村等とシステムを共通化することは良いことと思います。現在、川越市独自で運用している情報システムが何で、そのうち、どの情報システムが共通化対象で、どのシステムが川越市独自で更新・運用していくのかわかると良いと思います。	本施策は、自治体が使用する情報システムについて、一定の基準や規格のもと、共通システムの利用を促進する国の方針に基づき、システム更新時等を捉えて検討すること示しています。 ご意見をいただきました他自治体と共同でシステムを検討する視点は運用経費の削減の観点から重要であり、本計画におきましても7ページに「本市が目指す方向性」として示しております。	無
4	P. 12	BPRの推進は良いことと思います。ただ、この施策は、あまりにも一般的過ぎて、「災害対応時の情報共有のデジタル化」以外は、何をやるのかわからないと思います。	BPRについては、すべての業務において必要な視点であり、個々の事務の業務量を把握し、効率化が見込まれる業務については、順次デジタル化を進めるものでございます。	無
5	P. 13	単なるチャットボットではなく、AIエージェントを活用した業務効率化・サービス向上は今回の計画に入っているのでしょうか。	AIエージェントを活用した取組については、本施策において推進してまいります。	無
6	P. 17	推進体制の中に、DX/ITの専門家がいないように見えるのですが、川越市DX推進本部の中に専門家はいらっしゃるのでしょうか。また、一般的にある情報システムの企画系の部署とか、DX推進部とかと同等な組織は、川越市総合政策部情報政策課なののでしょうか。	DX推進本部は市全体のDXを総合的かつ計画的に推進する特別職等で構成される司令塔としての組織となり、DX/ITの専門家は含まれておりません。具体的な取組を進める中で、民間事業者等の専門的な知見を得ながらDXを推進していきます。 なお、DXを推進する担当部署といたしまして、情報政策課内にDX推進担当が設置されております。	無